

学校評価 児童全体の結果と考察のまとめ

1. アンケート実施日

R5.1.31~2.15 ※回収率 … 97 %

2. アンケート結果について

【評価の分類】

- ・4=そう思う
- ・3=ややそう思う
- ・2=あまりそう思わない
- ・1=そう思わない

【回答の平均値】

- ・平均値3.6を90%の達成値 → 「A」
- ・平均値3.2を80%の達成値 → 「B」
- ・平均値2.8を70%以下の達成値 → 「C」

☆本校目標基準値を「B」とする

3. 評価の集計結果

A:十分満足と判断できる	→ [4]項目
B:おおむね満足と判断できる	→ [13]項目
C:点検等が必要と思われる	→ [3]項目

4 考察

【Aについて】 十分満足と判断できる

達成値が90%を超える内容は、評価項目②・⑧・⑩・⑪・⑭・⑯・⑲の7項目が挙げられる。①・④・⑨・⑱に関して、前向きに自己評価していることが分かる。

このことから、児童の人権意識が向上し、友だちを大切にしていることや自分も先生や友だちから称賛されることで前向きな意識が持っていること、学習や係、清掃等の活動においてもルールを守り責任を持って行動できていること、安全に気をつけて生活ができていることが考えられる。

しかし、いじめや差別を受けていると感じている児童が15名、いじめや差別をしていると答えている児童が10名いることはしっかりと受け止めていかなければならない。学校生活アンケートや日々の生活の中で把握した事象について、一人一人に寄り添った対応をしているが、引き続き保護者の協力をいただきながら、人権教育を推進し、いじめや差別のない学校・学級をつかっていきたい。

今後も、よい環境は継続しつつ、一人一人の児童が安心して登校し、笑顔で生活できる学校づくりを行っていきたい。

【Bについて】 おおむね満足と判断できる

ほとんどの項目で達成値が80%を超えているが、③・⑦・⑫・⑳の項目について、留意する必要がある。

③は、「困ったときは、先生に相談するようにしている」という項目である。教職員は、児童に寄り添い児童の気持ちを理解できるように努めているが、17名の児童が相談しづらい現状があることから、さらに信頼関係を構築し、一人一人の児童の思いを把握し丁寧な対応に努めていきたい。

また、⑦の「チャイムを守ったり、整理整頓をしたりすることができる」については、落ち着いた学習環境を保つために学習規律を徹底し、児童が主体的に行動できるよう効果的な支援を行っていきたい。

【Cについて】 点検等が必要と思われる

点検・改善が必要と思われる内容は、評価項目⑥・⑰の2項目である。

⑥からは、自分の考えを発表したり書いたりして表現することに課題を感じている児童が多いことが分かる。全国学力学習状況調査や県ステップアップテストの結果からも思考力や書く力に課題があることが分かっている。今後は、タブレットを活用し、一人一人が自分の意見や考えを安心して表現できる環境をつくっていくとともに、自分の考えを書く機会を増やし、書くことへの抵抗感をなくせるようにしていきたい。

②からは、進んでたくさん読書をしている児童が、それほど多くないことが推察される。学校でも読書時間の確保や図書を積極的に借りる機会をとっているが、スマホやタブレットなどから様々な情報を簡単に手に入れることができたり、ゲーム等への興味が大きいことから、読書から離れる状況が課題となっている。鴨島図書館との連携し、本を読むことを楽しんだり、本から情報を得る時間を意図的に設定したりするなど、読書への啓発を工夫して行っていきたい。

